



かえるになろう

2024/6/21

No.23

岩渕和信

湘南学園のプールは屋上にあります。地上のプールと違い、水が温まりやすく、木の葉などのゴミが入らないきれいなプールです。



「1, 2, 3, キック! 1, 2, 3, キック!」

先生のかけ声で、カエル足の練習です。

目標は「横の距離を、足をつかずに泳ぐ」。今日は手にビート板を持って、足だけで進む練習をしています。



「1, 2, 3, キック! あ、手に力が入りすぎてからバランスがおかしい。手をしっかり伸ばす」

すぐに手を取って感覚をとらえさせます。

「よし、いい感じ!」

プールの向こう側で別の先生と練習しているのは、上級チームのみんなです。今、練習を終えたところで、輪になって次の課題を確認しています。



「次回はいよいよコンビネーションで、手をつけてやります。こんな感じで」

次回に向けて、泳ぎをイメージしました。

シャワーを浴びて校舎に戻るときは、先生がカウンターで、戻った児童の数をカウントしています。



さて問題です。なんで最後にここで人数をカウントしているのでしょうか?

練習は嘘をつかないって言葉があるけど、頭を使って練習しないと普通に嘘つくよ。

(ダルビッシュ)